

<マンション管理シンポジウム>

マンション管理を新しい潮流へ

主催 公益財団法人 マンション管理センター

マンションの建物は、100年以上の耐久性があるとする説があるなど、十分に「健康に長生きできる器」です。しかしながら、マンションを管理する管理組合においては、管理不全の予防、建物・設備の維持保全、組合活動の活性化、コスト管理など、様々な課題が存在し、これらの課題への対応は、建物の経年及び区分所有者の高齢化に伴い高度化・複雑化する現状にあります。マンションが健康で長生きするにはどうすれば良いのか、元気に老いていくにはどうすれば良いのか、新たな取り組みが求められています。

本シンポジウムは、マンション管理に携わる方々を対象に、マンション管理をめぐる課題や将来懸念される課題に対する取り組みを考えるヒントになるよう、マンション管理の各分野で活躍中の専門家により、最新の取り組みなどを踏まえた議論を行う公開討論会です。

●テーマ「マンション管理を新しい潮流へ」

サブテーマで提起される課題に対する解決策、最新の取り組みなどに関して討論を進めます。

コーディネーター： 小林秀樹氏 千葉大学大学院工学研究科教授

○サブテーマ「一歩進んだマンションの維持管理」

修繕や改修を繰り返し行うことで建物や設備を良好に維持している築40年の団地の取り組みを紹介し、長期修繕計画を越えてマンションを長持ちさせる鍵を探る。

話題提供者： 宮城秋治氏 (公社)日本建築家協会 関東甲信越メンテナンス部会

○サブテーマ「マンションの管理不全をどう防ぐのか」

近年、管理不全マンションに大きな関心が寄せられている。管理不全マンションをどう防げばよいのか。タワーマンションでも同様の問題が起こりえる。管理不全にならないために、管理組合の取り組み方、専門家の役割、そして行政の在り方を考える。

話題提供者： 齊藤広子氏 横浜市立大学国際総合科学部教授

○サブテーマ「管理組合はどこまでできるか」

管理組合の4つの段階（「区分所有者の団体」→「集会・管理者・規約の設置」→「管理会社への委託」→「専門家の活用」）を指定し、マンションの長寿命化及びその後（建替え・解消）の過程の中で、管理組合はどこまでの「管理」ができるかを考える。

話題提供者： 鎌野邦樹氏 早稲田大学法科大学院教授

参加メンバー（予定）

篠原みち子氏 篠原法律事務所弁護士

川上湛永氏 全国マンション管理組合連合会会長

鈴木良宜氏 (一社)マンション管理業協会事務局長

中山孝仁氏 (一社)東京都マンション管理士会

- 日 時 平成31年3月28日(木)
午後2時～4時30分 (午後1時30分開場)
- 受講料 無 料
- 定 員 250名(事前申込み制)

定員に達しましたので受付を終了しました

※ご連絡した受講番号を当日会場でお知らせ下さい。

問合せ先 (公財)マンション管理センター 総合研究所
TEL:03(3222)1519

すまいるホール案内図

文京区後楽1-4-10(住宅金融支援機構1階)

